総合的な学習の時間・小学校・５年　加西市立富田小学校　教諭　後藤　雅司
単元名　情報モラル・情報安全

題材名「ネット社会の歩き方」

■　目　標

・　インターネットで行われている様々なサービスの正しい使い方を理解させる。
・　ケーススタディを通して，ネット社会で正しく安全に過ごすための考え方と態度を養う。

■　コンピュータを活用する利点

高学年になると，各教科や総合的な学習の時間において，情報収集や発信の手段としてインターネットを利用する機会が多くなる。しかし，ネチケットがまだ十分身についていない児童も多く，様々なサービスも満足に使いこなせていないというのが実情である。そこで,「ネット社会の歩き方」のケーススタディを通して疑似体験させ，情報モラルと情報安全についての知識を深めることによって，ネット社会に対する免疫力を高めたいと考えた。

■　授業の流れ

校内LANを利用して，チャットや掲示板を楽しむ。
↓
ログを読み返して，気になったことを話し合う。
↓
学習ユニット(解説なし)を読み進める。(個別)
↓
ワークシートに自分の考えを記入する。
↓
解説を読み進める。(一斉)
↓
わかったことや考えたことをまとめ，話し合う。

■　ICT 活用場面

初めに，コンピュータ室内のみで利用できるローカルチャットとローカル掲示板を紹介し，ハンドルネームを使って投稿者が特定できない状態で自由に投稿させた。案の定，意味のない文字の羅列や望ましくない用語などの悪ふざけが目立ったので，ログを印刷して配布し，気になったことを話し合わせた。

その後,「ネットで悪口は要注意」「おもしろ半分では無責任」などの学習ユニットで個別に疑似体験させたあと，プロジェクタを利用して解説を読み進めた。個別作業で解説なしの学習ユニットを使ったのは，問題点や改善点を考えさせたかったからである。

■　成果と課題

子どもたちは，学習した内容については着実に理解し，態度も改善されてきている。まだ学習していないカテゴリがたくさん残っているので，必要に応じて取り組みを続けていきたい。

また，個人のホームページやブログを立ち上げている児童がいる反面，パソコンに触れるのは学校だけという児童もおり，個人差がどんどん拡大している。よく理解して正しく使いこなせている児童を積極的に紹介して，小グループのリーダーをさせるなど，その対応についても考えていきたい。

■　ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン25台，プロジェクタ
使用ソフト名	Internet Explorer，ジャストスマイル
出　典	ネット社会の歩き方 http://www.cec.or.jp/net-walk/
使用教室	コンピュータ教室